

関越自動車小千谷 IC と山谷 PA 間

調査日：平成 16 年 11 月 6 日（土）

班：地盤土構造物マネジメント班（構造物マネジメント班ほかとの合同調査のうち担当分）

分類別：被災状況、復旧状況

キーワード別：高速道路、盛土

調査結果

盛土の腰土留めが転倒（写真 1）。支持地盤も水平方向に変位して側溝を破損（写真 2）。反対側の盛土も同様に变形（写真 3）。これらの結果として横断カルバート中央部の目開きが生じたと考えられる（写真 4）。



写真 1 腰土留めの転倒



写真 2 側道脇の側溝の破損



写真 3 腰土留めの傾斜（写真 1 とは反対側）



写真 4 横断カルバート中央の開き